

凡例 ① 所在地 ② 申請者 ③ 階数 ④ 住戸数 ⑤ タイプ



ソフト+認定

ライオンズマンション横浜星川

よこはま防災力向上マンション



基本情報

- ① 保土ヶ谷区川辺町
- ② ライオンズマンション横浜星川
管理組合
- ③ 地上11階、地下1階
- ④ 128戸
- ⑤ 既存・分譲

ソフト+認定の概要

【防災組織】

町内会会則に基づき、管理組合も参加し、防災委員会を設置
 平時は防災計画の立案、訓練の実施等を検討協議
 震度5弱以上の地震発生時に災害対策本部を設置

【防災マニュアル】

居住者向け冊子「在宅避難のための
 ハンドブック」を配付

日頃から意識しておきたいことや、発災時
 時にお願いしたいことを記載

防災委員会メンバーでは「発災時の
 行動マニュアル」を共有

防災委員会活動の考え方や、発災時の
 行動手順を記載

在宅避難のためのハンドブック▶

日頃から意識しておきたいこと

1. 「食料の備蓄」は
ローリングストック(循環備蓄)
2. 災害用簡易トイレとごみ袋はしっかり用意
3. 家具は倒れないように
4. 地震は予測できないが、水害は予測可能
5. 災害の時は自助・近助・共助



大規模災害が発生した時、皆さんをお願いしたいこと

- ① マンションは在宅避難が基本と考えてください
 浸水被害が予想される時は2階以上への避難をお願いします
- ② 大規模地震が発生した時、自分やご家族の安全が確認出来たら
 安否確認マグネットシートを玄関外側に掲示してください
- ③ 排水についてはマンション内排水管の安全確認が取れるまで
 使用しないでください 安全確認後に案内放送をします

【防災訓練】

館内一斉放送による安否確認訓練を実施 (令和6年度実施内容)
 各住戸へ配付している安否確認マグネットシートの貼付状況を
 エントランスに設置されている安否確認住居表示板へ記入し集計



▲安否確認訓練の様子

【飲料水等の備蓄】

飲料水、簡易トイレ、食料を最低でも3日分各家庭で備蓄

【地域との協力体制】

川辺町に立地するマンションの管理組合と、
 災害時に協力して防災活動や情報共有を図る
 ため「川辺町防災協力会」を結成

【地域との防災訓練】

「川辺町防災協力会」にて防災セミナーや
 防災訓練を実施

【地域交流活動】

「川辺町防災協力会」主催で社会見学を
 実施。協力会以外の方も参加可能

防災セミナー
(地震編)

**能登半島地震の
教訓と災害への備え**

令和6年6月1日(土)
14時~16時(開場13時40分)
保土ヶ谷公会堂1号会議室(保土ヶ谷区星川1-2-1)





講師 能登 徹 氏
 国土交通省国土院防災課
 国土院防災課長補佐
 2023年4月
 能登半島地震の被災地視察
 報告書作成
 国土院防災課長補佐
 2023年4月
 能登半島地震の被災地視察
 報告書作成
 国土院防災課長補佐
 2023年4月
 能登半島地震の被災地視察
 報告書作成

写真 保土ヶ谷区役所総務課防災課

第1部 能登半島地震被災地派遣の状況等について
(保土ヶ谷区役所総務課防災担当)

第2部 在宅避難について
(能登 徹 氏)

≪参加申込方法≫
 5月14日(土)まで
 又は問合せ先へ ショートメール
 ≪お申し込み≫
 氏名、町名(又は自治会、町内会名)、連絡先(電話番号)

【問合せ先】

主催：川辺町防災協力会

▲防災セミナーのチラシ